



東京スカイツリー内に設置される「とちまるショップ」のイメージ図

## 平成二十四年度予算について

質問（藤田紀夫議員） 住みよいまちづくり、たくさんの幸せ感が感じられる協働のまちづくりを目指す当初予算における市長の所信について伺います。

答弁（市長） 平成二十四年度の一般会計当初予算は、厳しい社会経済情勢を反映しまして、歳入面では市税収入が大きく減少することが見込まれる状況にあります。東日本大震災からの復旧、復興を第一に、市民生活の安全安心を守る取り組みの充実を初め、市民一人ひとりが主役となる住みよいまちの実現を

目指しています。

また、平成二十四年度は、今後五カ年間の大田原市総合計画、おおたわらレインボープラン後期基本計画のスタートの年となりますので、マニフェストを基本とした六項目を重点課題といたしまして、住みよいまちづくり、たくさんの幸せ感が感じられる協働のまちづくりを実践していくこととしております。

一点目が、安全安心な暮らしを守るまちづくり、二点目が人を育むまちづくり、三点目が活

## とちまるショップについて

質問（滝田一郎議員） 東京スカイツリータウン内に県と市町が共同でアンテナショップが設置されますが、これに対する市の対応方針について伺います。

答弁（産業文化部長） 東京スカイツリータウン内に設置される栃木県のアンテナショップ「とちまるショップ」については平成二十四年五月二十二日の東京スカイツリーの開業に合わせ準備が進められております。

アンテナショップの管理運営については、県と市町等で組織する栃木県アンテナショップ

協議会が設置され共同事業として相互に協力、連携しながら円滑な管理運営がなされることになっております。

また、店舗の運営については、アンテナショップ運営事業者に業務委託しており、設置に関する経費については、県が全額負担し、運営に関する経費については、県、市町と運営事業者間で分担することになっており、平成二十四年度の大田原市の負担分は五十万三千三百五十円です。

アンテナショップでの商品の

出品方法については、商品出品希望事業者が直接運営事業者に申し込みを行い、審査を受けることになっております。

本年一月二十四日現在、アンテナショップ取り扱い商品の申し込み数は、県内二百四十社、千二百七十二商品となっております。そのうち大田原市については十一社三十五商品の申し込みがされています。

また、「とちまるショップ」には、イベントスペースもあることから、観光や物産のPR活動を実施できるよう準備を進めてまいります。

力あふれるまちづくり、四点目が健康で生き生きまちづくり、五点目が人が優しいまちづくり、六点目が人が輝くまちづくりの六項目を自助、共助、公助の連携により、豊かで活力のある幸せ感の高い大田原市を創造していくことといたしました。

その結果、平成二十四年度一般会計予算の総額は三百億七千万円で、対前年度比2・3%増の積極型予算としたところでありまして、財政の健全化の確保に留意をしつつ、第二次大田原市行政改革大綱に基づき、経常的経費については、枠配分により前年度以下として、経費の節減に努め、人件費の抑制や事務事業の見直しに努めたところであります。



都市基盤整備が進んでいます